



玄 報 よひた

12月 No. 198

〔昭和57年12月10日〕

■発行／与板町(代表者与板町長平沢甚九郎)

■ 電話 (025872) 代 3100

— 今月の主なみどころ —

- | | |
|----------|-------|
| 克雪をめざして | 2～5 |
| 生活のメモ | 6・7 |
| 熱戦の結果 | 8・9 |
| ひろば | 12・13 |
| わたしのふるさと | 16 |

——広報“よ　い　た”57.12.10発行——

保健婦さんの1口アドバイス



お正月の冴を守る

食事が不規則になりやすい時期なので、自分のペースを守ることが大切。昼に食べ過ぎたナ、と思つたら夜を控える。すき腹にアルコールは禁物。お酒を飲む時は必ず副食をたくさん食べること。ごく常識的で誰でも実行できる心掛けが、あなたの健康を守る基礎になります。

日本人の悪いくせでお酒をしつこく人に勧めます。友人とは無責任なものでどこまでこちらの健康を心配してくれているのか疑問です。

誘惑に乗った方が負けという結果にならないように、自制心を忘れないこと。

同時に相手に対しても思いやりを。飲めない相手には無理強いしない心の広さを持ちたいもの。お互いのペースを守りながら楽しい一刻を過ごして下さい。

岐阜県白川町
〈南新町〉千村ユミ子さん

A hand-drawn illustration of a traditional Japanese wooden bridge (Kura) spanning a narrow stream. The bridge has a simple railing and is surrounded by trees and foliage. Above the bridge, the title 'わたしのふるさと' is written in large, stylized Japanese characters.



つけた「ごへい
もち」などがない
つかしい味です。
与板へ来ては
じめてのお正月
ここのお雑煮は
どういう具なの
かよく習つてお
いて、ハイツと
出しました。あれ
れ、小豆餅と
なこ餅は?と言

▼今年最後の広報紙をおとどけします。

一年を振り返って、なかなか進歩の跡が見られず大変すみません。

▼冬将軍到来の季節となりましたので今月号は町の除雪体制をのせてみました。

早朝からの除雪は、通学通勤に間に合うようにするのが一番の勝負、運転する人も午前二時に起きてがんばりますが、なによりも住民の皆さんの協力が大切です。よろしくおねがいします。



= 人 口 =
(11月30日現在)

男……3,780人 女……3,988人
 計……7,768人(－7人)
 世帯数…1,803(±0)
 転入……8人 転出……21人
 出生……7人 死亡……1人



— 57. 12. 10 発行 —

除雪路線

除雪パイプ及び排雪作業を併用し、機械除雪を行つて、冬期間の道路交通確保を図り産業振興と住民の安全を図る。

目的

出動体制

出動は午前3時とし降雪が15cm以上、又は吹雪あがりの日とする。

除雪機械 ステーション

・ブルドーザー1号車
（本与板地内）
・タイヤドーザー2号
（広野地内）
・タイヤドーザー1号
車・ロータリー車・
グレーダー

(役場前)

除雪計画路線

除雪機械保有状況

交付要領

●除雪ドーザー
 車輪式車
 ●除雪ロータリー車
 除雪グレーダー
 パトロール車(ジープ)
 1台 1台 2台 1台

今冬の町の除雪計画をお知らせします

こんな事に
注意して”

- ・補助金の対象は排雪に際し借上げた重機械及びトラック等これに類するものとする。
- ・借り上げに際しては、事前に町へ申し出た後、町が指定した業者の重機械及びトラック等を用いるものとする。

▼道路の測溝と人家の入口の高低差のある箇所に斜にして蓋をかけてある箇所が見受けられますがあちこち撤去して下さい。

▼消火栓等には判明出来るように赤い布切を付けまして明示し、又、路上看板、塵埃箱、ドラム缶等を残置しないように。

▼排雪作業が円滑に進めようには沿道住民は積極的に雪捨場所の位置を選出、協力して下さい。

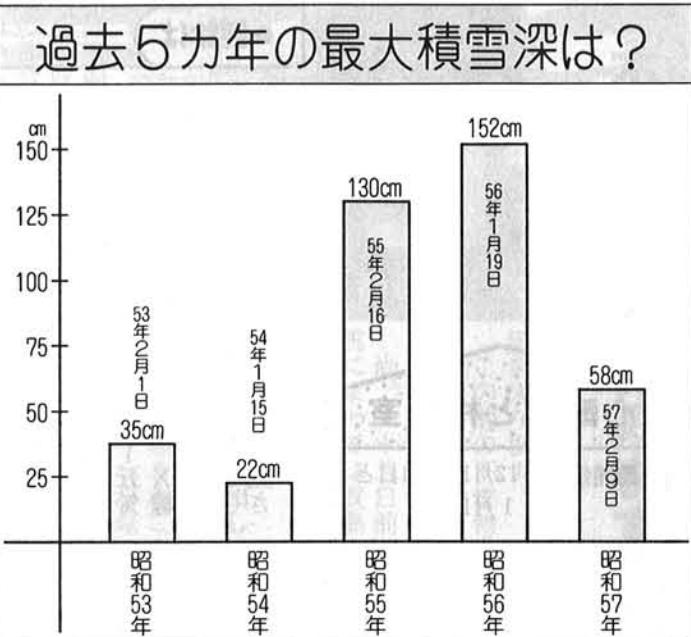
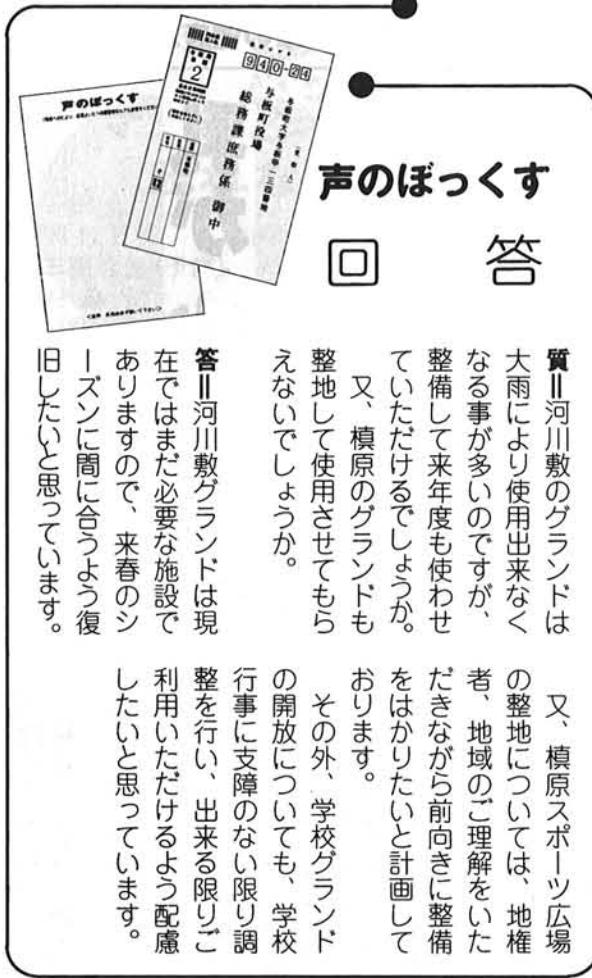
▼除雪作業車の通過後、各自の出入口をふさぐことが多いのですが、皆さんの協力で出入口の通路を確保されますよう、除雪後残雪を車道上に投棄しないように。

——広報“よいた”57.12.10発行——



今年もまた朝・夕の天気予報で西高東低と云うことばを多く聞く季節となり、毎年のことながら雪の量が心配されます。冬期間の道路確保は、雪国に住む私達の生活を直接左右する重大な問題です。

町でも今年は新鋭のショベルドーザーを購入し、更に機械力を駆使し、幹線町道はもとより生活道路の早朝除雪に万全を期す体制です。この作業がスムーズに行なわれますようご協力をお願いします。



質 河川敷のグラウンドは大雨により使用出来なくなる事が多いのですが、整備して来年度も使わせていただけるでしょうか。

又、檍原のグラウンドも整地して使用させてもらえないでしょうか。

又、横原スポーツ広場の整地については、地権者、地域のご理解をいただきながら前向きに整備をはかりたいと計画しております。

昨年、県内では飲酒運転による交通事故で36人が死亡しました。車を運転して来たお客様に対しては「お酒によるもてなし」をしてはなりません。車で来た人に酒をすすめることはかえって本人にめいわくなるということが社会常識となり、また、すすめられた酒を断つても失礼にならないという習慣をみんなの力でつくりあげまし

道路交通事故防止により運転免許取消しとなりましたが、運転者自身の自覚と勇気が飲酒運転を絶滅の根本です。交通安全意識のバロメーターといわれる飲酒運転……家庭、職場地域ぐるみで絶滅運動を相思よく続けましょう。

ツブしやすくなります。
これらが原因の重大事故
が例年多発する時期です。
みんなで気をつけて明るい
お正月を迎えましょう。

12月のキャンペーントリビュート

(毎月10日は交通安全家庭の日です)



除雪路線表			
路線名	車線確保	路線名	車線確保
長岡寺泊線	2車線	大口与板線	1~2車線
見附与板線	2車線	与板関原線	1~2車線
長岡和島線	1~2車線	横下南中線	1車線
与板北野線	1~2車線	寺泊与板線	1~2車線

前年度に引き続き関係市町村と協議のうえモデル地区を選定し試験除雪を実施いたします。

以上の方針にもとづいて当土木事務所も除雪計画を検討して参りましたが、ほぼ昨年と同様の除雪を行ふことを計画しております。

又、歩道除雪につきましても試験除雪として、横町稲荷町の一部を行ふことを考えております。

①、県の管理する道路については、除雪に万全を期しますが、なだれ防止施設が未整備又は未改良で巾員がせまいため除雪作業が困難であり通行の安全が保障できない路線については除かせていただきます。

②、冬期間の交通量が年々増加していることから、可能な限り二車線確保を図ります。

③、バス停、特に通学路内にあるバス停留所については、待避所の除雪を行い、通学児童の安全をはかるように努めます。

しかし道路事情によりやむを得ず一車線確保となるところは交通の安全確保を配意のうえ必要により通行の制限を行います。

④、歩道の除雪については

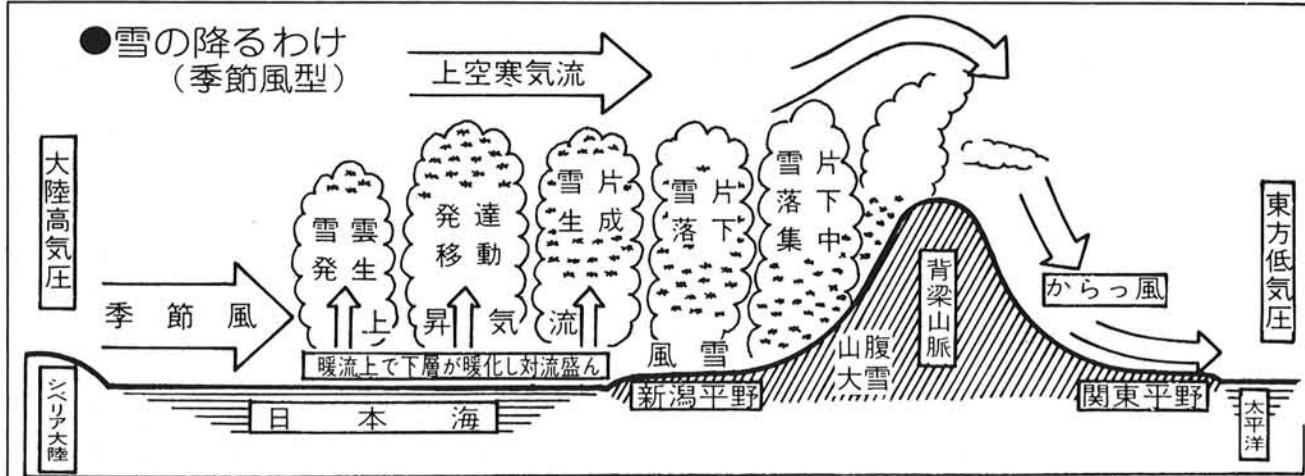
県の除雪対策の基本方針は

基本方針は



与板町役場土木課

**新鋭のシミヘルトーサーで
万全を期します**



大陸からやってくる冷たい季節風は暖かい日本海から熱と水蒸気をうけて雪雲を作り、せきりょう山脈によって上昇すると多量の雪を降らせます。太平洋側へは雪を降らせた後、空つ風となって好天をもたらします。



新潟地方気象台 発表によると 今冬は大雪の恐れ!

この冬(12月～2月)の寒さはほぼ平年並みのみこみですが、寒暖の変動が大きいでしょう。積雪量は、平年並かまたは、やや多くなるみこみです。初冬(12月)は、一時冬型の気圧配置が強まりますが長続きせず比較的暖かな日が多いでしょう。1月から2月にかけては、時々冬型の気圧配置が強まり大雪の恐れがあります。
＜12月の予報＞…冬型の気圧配置は長続きせず、比較的暖かな日が多いみこみです。又、寒暖の変化が大きいでしょう。

『1月の予報』…時々冬型の気圧配置が強まり、大雪の降る恐れがあります。

以上、この冬は極端な寒冬、もしくは暖冬にはならないみごみで冬平均では平年並ぐらい、寒暖の変動が大きいことが考えられる。初冬(12月)がやや暖冬傾向、1~2月がやや寒冬傾向が予想され、1~2月とくに1月中心に大雪の恐れがあると予想される。



『虫とり』



与板小 2年竹組
米山光三くん



僕の作品
私の作品

与板小 2年竹組
小林あゆみさん



女流歌人
千村ユミ子さん
(南新町)
宮松二先生「コスモス」
短歌会で入選



受賞の発表された
コスモス9月号

全国で約5,000人の会員をもつコスモス短歌会主催の「第29回コスモス賞」を今回千村ユミ子さんが受賞され、又、同じくコスモス会の「〇先生賞」も同時に受賞されました。

これは新潟県人としては始めての受賞だそうで、千村さんの22年間にわたる歌への情熱が見事に今回の受賞につながった訳です。

大変おめでとうございました。



◀ O.B. 現役 同じ会して

与板町野球協会が創立35周年を祝う



町の体育協会の中の与板町野球協会が、誕生してから35年をむかえ、それを記念して、11月3日文化の日に歴代のO.B.の皆さんと共にスポーツ広場で記念野球大会を行いました。

大屋黄鶴父子展が大和デパートで開催される



父子展開催のセレモニー

当町出身の画家、故大矢黄鶴氏と紀氏、十四彦氏の父子展が、11月3日～11月9日までの期間、長岡の大和デパートで開催され好評のうちに終了しました。

亡き母は布ワラ草履に謝し居たりスリッパぬくくしあわせ思ふ
六十幾手前の思い出より

のぎく読書会 R・S
庄

手習えの師をば仰ぎて老友と童心にかへり年忘る宴
城址にてもののふ達の生様を偲びつ町の平和見おろす
吉岡みよ

のぎく読書会 R・S
長田芯

血よ踊れ若氣命は燃えたたん焚火を焚きて暮れるまで踊る
亡きとりの折城山にて小休止
吉岡みよ

のぎく読書会 R・S
城

立冬の日射し炬燵のへりにあり
忘年会酒酔ひます海の宿
吉岡みよ

のぎく読書会 R・S
志城

ひろば

城山鼓友会“たちばな太鼓”を
長岡駅で披露



▲熱演するたちばな太鼓

上越新幹線が開通した11月15日(日)、開通記念として長岡駅1階で催された「ふるさと芸能まつり」に当町から民謡たちばな会と城山鼓友会が各地区の郷土芸能の参加者と共に出演し、「与板おけさ」「たちばな太鼓」を披露、満員の観衆を魅了しました。

わがまち

城山から

落葉をふみ鳴らしてのスケッチ。手もとにぱらりとカラマツの葉が散る。

紅葉の山なみの向うに、ひとはけ光る信濃川。

蒲原の平野は、空ととけ合っていました。

森林公園にも登る。

南の沢が見事で、枯れ葉の舞う中、しばし眺め入りました。

文・絵 雲居立雄氏



朝

詩

ふじいや
心に曇りはないですか
かすかな微笑はいとねの
なごりですか

鏡の中だけだるい感覚の
光が呼びかける
吐きだす息はかわいた唇を
かすって髪にしみいる

かすて紅を引く指先に
除かれていた生活が甦る
一日の規律を練り

吐きだす息はかわいた唇を
かすて紅を引く指先に
除かれていた生活が甦る

闇をけつて瞳を開く
塞がれた心に少しづつ
光が広がる

新しい視野が生れる
満された瞬間を味う

闇をけつて瞳を開く
塞がれた心に少しづつ
光が広がる

短歌

「みかん」「短日」

子の話ばかりや夜汽車みかんむく
蜜柑もぐ出稼話に弾む妻

青蜜柑ジーパンの子等ぎこちなく
トンネルを抜けて海鳴り暮早し

静いのいつしか伏目蜜柑むく
短日や壁に向かいて事務机

肩越しに蜜柑ねだりし聲小さし
気疲れの旅の一と間の暮早し

日短か病めば夕刊待ち遠し
長電話蜜柑食うべて続けおり

雑用に追わるる日々や年の暮
立冬の日射し炬燵のへりにあり

忘年会酒酔ひます海の宿
吉岡みよ

のぎく読書会 R・S
司

俳句

句

文芸欄

ほのぼの家族

伊田公彦



よいたの自然を たずねて



フユノハナワラビ

シダの一種で、杉林の中にときどき生えており、一株を見つければ、附近にまた探すことができる。秋の終わり、他の草の枯れた時に出かけると見つけた。

一般的にトコワラビといつて、鉢植えにして玄関や床の間に飾る。トコワラビといふことは、冬、葉が枯れないのでワラビというところからでたのだろうか。

同じ仲間にオオハナワラビがあつて、フユノハナワラビと混生しており、やはりトコワラビという。

どちらも生育期が夏から翌年の春までで、胞子は秋に熟して粉のように散る。



一口メモ からだのテスト <その⑨>

回転とび

その場でとびあがって空中で1回転します。どれくらいまわればいいのか?

- 1回転してもとの位置に着地できる
- △ 半回転以上まわられた
- × それ以下しかまわれない



その場でとびあがる足は一足長くらい開いて



くらしの 豆知識

▼電気こたつは、こたつマットを敷くと、床面への熱の損失を防ぎ保温効果が高くなり、一ヶ月間で4.2キロワットアワー(126円)の省エネルギーになります。

また、掛ぶとんは、大きなゴミ(クサソテツ)・鑑賞用としてノキシノブ・ガンソク(イヌガンソク)・トコワラビぐらいで、とのシダの仲間は与板の山に多く自生しているが、人々に縁のあるものは、食用とせばあると思われる。

この他に、春から夏が生育期で、胞子が六月ころ熟するナツノハナワラビが、与板の近接地域で発見されているので、与板の山も探せばあると思われる。

シダの仲間は与板の山に育てられました。それがおられたが、そのお住職で順秀と言う人がおられたが、そのお住職で順秀と言つてあります。両寺とも光源寺の門徒で新潟に扇屋治衛門と言う人がおられた。ある事情により一人

ふるさとの題



▶与板離子のパンフレット即興的技術が必要なんだなあ!!と、思わず感嘆したと書いていられる。

みんなと歩いた五十年。今、ふるさとを見つめ離れることこそ新しいことに併せて残していくこう!!

〈船戸笠原信次記〉



大石先生から笠原さん宛に「拝啓、今回御地民謡の有難う御座居ました。皆様一致協力しての御様子を拝しまして殊のほか嬉しう存じました。幸に御尊台が普及されれば、これに越したる喜びはご座居ません。

小生その後、帰沼いたしましたと、病魔にとりつかれて、臥床いたしておりますので、御挨拶がおくれて書いていられる。

去る九月二十八日の日報に、新幹線開通へ心おどる古町芸者、指導する市山七郎。この人こそ市山流六代目宗家である。岩室甚句相川音頭、米山甚句等々親しみ深いものがあると書かれてあった。市山七十世さんは何代目になるか定かでないが、与板小唄、与板離子の振着は市山流によるものだ。

与板離子は市山流によるものだ。黒縁のサングラスをかけた老師匠が、与板小唄、与板離子に耳をかたむけながら、何度も自分の手と足を叩いて手振り身振りよろしく踊られた姿が目に見えるようだ。と

发起人の一人である笠原さんは、歌曲の振着とは、

与板小唄、与板離子の振着は、新潟古町の今は亡き市山七十世さんが、北新町の蒲寿屋料亭の大広間で、与板芸妓全員を集めて講習されたものだ。黒縁のサングラスをかけた老師匠が、与板小唄、与板離子に耳をかたむけながら、何度も自分の手と足を叩いて手振り身振りよろしく踊られた姿が目に見えるようだ。と

与板小唄、与板離子の振着は、新潟古町の今は亡き市山七十世さんが、北新町の蒲寿屋料亭の大広間で、与板芸妓全員を集めて講習されたものだ。黒縁のサングラスをかけた老師匠が、与板小唄、与板離子に耳をかたむけながら、何度も自分の手と足を叩いて手振り身振りよろしく踊られた姿が目に見えるようだ。と

さて、その小唄、離子の歌のメロディーは、静岡県沼津市の高等女学校の大石進一先生が作曲された。昭和十一年十月十五日付で

筆者 公民館長 高橋 康夫

二伸寺泊行きの自動車代、未払いして参りましたが、小学生の作曲料より御差引が小生の作曲料より御差引の上、小沼様にお渡し願いります。失礼ながらお願ひます。

即興的技術が必要なんだなあ!!と、思わず感嘆したと書いていられる。

去る九月二十八日の日報に、新幹線開通へ心おどる古町芸者、指導する市山七郎。この人こそ市山流六代目宗家である。岩室甚句相川音頭、米山甚句等々親しみ深いものがあると書かれてあった。市山七十世さんは何代目になるか定かでないが、与板小唄、与板離子の振着は市山流によるものだ。

与板離子は市山流によるものだ。黒縁のサングラスをかけた老師匠が、与板小唄、与板離子に耳をかたむけながら、何度も自分の手と足を叩いて手振り身振りよろしく踊られた姿が目に見えるようだ。と

发起人の一人である笠原さんは、歌曲の振着とは、

与板小唄、与板離子の振着は、新潟古町の今は亡き市山七十世さんが、北新町の蒲寿屋料亭の大広間で、与板芸妓全員を集めて講習されたものだ。黒縁のサングラスをかけた老師匠が、与板小唄、与板離子に耳をかたむけながら、何度も自分の手と足を叩いて手振り身振りよろしく踊られた姿が目に見えるようだ。と

さて、その小唄、離子の歌のメロディーは、静岡県沼津市の高等女学校の大石進一先生が作曲された。昭和十一年十月十五日付で

筆者 公民館長 高橋 康夫

二伸寺泊行きの自動車代、未払いして参りましたが、小学生の作曲料より御差引が小生の作曲料より御差引の上、小沼様にお渡し願いります。失礼ながらお願ひます。

即興的技術が必要なんだなあ!!と、思わず感嘆したと書いていられる。

去る九月二十八日の日報に、新幹線開通へ心おどる古町芸者、指導する市山七郎。この人こそ市山流六代目宗家である。岩室甚句相川音頭、米山甚句等々親しみ深いものがあると書かれてあった。市山七十世さんは何代目になるか定かでないが、与板小唄、与板離子の振着は市山流によるものだ。

与板離子は市山流によるものだ。黒縁のサングラスをかけた老師匠が、与板小唄、与板離子に耳をかたむけながら、何度も自分の手と足を叩いて手振り身振りよろしく踊られた姿が目に見えるようだ。と

发起人の一人である笠原さんは、歌曲の振着とは、

与板小唄、与板離子の振着は、新潟古町の今は亡き市山七十世さんが、北新町の蒲寿屋料亭の大広間で、与板芸妓全員を集めて講習されたものだ。黒縁のサングラスをかけた老師匠が、与板小唄、与板離子に耳をかたむけながら、何度も自分の手と足を叩いて手振り身振りよろしく踊られた姿が目に見えるようだ。と

さて、その小唄、離子の歌のメロディーは、静岡県沼津市の高等女学校の大石進一先生が作曲された。昭和十一年十月十五日付で

筆者 公民館長 高橋 康夫

二伸寺泊行きの自動車代、未払いして参りましたが、小学生の作曲料より御差引が小生の作曲料より御差引の上、小沼様にお渡し願いります。失礼ながらお願ひます。

即興的技術が必要なんだなあ!!と、思わず感嘆したと書いていられる。

去る九月二十八日の日報に、新幹線開通へ心おどる古町芸者、指導する市山七郎。この人こそ市山流六代目宗家である。岩室甚句相川音頭、米山甚句等々親しみ深いものがあると書かれてあった。市山七十世さんは何代目になるか定かでないが、与板小唄、与板離子の振着は市山流によるものだ。

与板離子は市山流によるものだ。黒縁のサングラスをかけた老師匠が、与板小唄、与板離子に耳をかたむけながら、何度も自分の手と足を叩いて手振り身振りよろしく踊られた姿が目に見えるようだ。と

发起人の一人である笠原さんは、歌曲の振着とは、

与板小唄、与板離子の振着は、新潟古町の今は亡き市山七十世さんが、北新町の蒲寿屋料亭の大広間で、与板芸妓全員を集めて講習されたものだ。黒縁のサングラスをかけた老師匠が、与板小唄、与板離子に耳をかたむけながら、何度も自分の手と足を叩いて手振り身振りよろしく踊られた姿が目に見えるようだ。と

さて、その小唄、離子の歌のメロディーは、静岡県沼津市の高等女学校の大石進一先生が作曲された。昭和十一年十月十五日付で

筆者 公民館長 高橋 康夫

二伸寺泊行きの自動車代、未払いして参りましたが、小学生の作曲料より御差引が小生の作曲料より御差引の上、小沼様にお渡し願いります。失礼ながらお願ひます。

即興的技術が必要なんだなあ!!と、思わず感嘆したと書いていられる。

去る九月二十八日の日報に、新幹線開通へ心おどる古町芸者、指導する市山七郎。この人こそ市山流六代目宗家である。岩室甚句相川音頭、米山甚句等々親しみ深いものがあると書かれてあった。市山七十世さんは何代目になるか定かでないが、与板小唄、与板離子の振着は市山流によるものだ。

与板離子は市山流によるものだ。黒縁のサングラスをかけた老師匠が、与板小唄、与板離子に耳をかたむけながら、何度も自分の手と足を叩いて手振り身振りよろしく踊られた姿が目に見えるようだ。と

发起人の一人である笠原さんは、歌曲の振着とは、

与板小唄、与板離子の振着は、新潟古町の今は亡き市山七十世さんが、北新町の蒲寿屋料亭の大広間で、与板芸妓全員を集めて講習されたものだ。黒縁のサングラスをかけた老師匠が、与板小唄、与板離子に耳をかたむけながら、何度も自分の手と足を叩いて手振り身振りよろしく踊られた姿が目に見えるようだ。と

さて、その小唄、離子の歌のメロディーは、静岡県沼津市の高等女学校の大石進一先生が作曲された。昭和十一年十月十五日付で

筆者 公民館長 高橋 康夫

二伸寺泊行きの自動車代、未払いして参りましたが、小学生の作曲料より御差引が小生の作曲料より御差引の上、小沼様にお渡し願いります。失礼ながらお願ひます。

即興的技術が必要なんだなあ!!と、思わず感嘆したと書いていられる。

去る九月二十八日の日報に、新幹線開通へ心おどる古町芸者、指導する市山七郎。この人こそ市山流六代目宗家である。岩室甚句相川音頭、米山甚句等々親しみ深いものがあると書かれてあった。市山七十世さんは何代目になるか定かでないが、与板小唄、与板離子の振着は市山流によるものだ。

与板離子は市山流によるものだ。黒縁のサングラスをかけた老師匠が、与板小唄、与板離子に耳をかたむけながら、何度も自分の手と足を叩いて手振り身振りよろしく踊られた姿が目に見えるようだ。と

发起人の一人である笠原さんは、歌曲の振着とは、

与板小唄、与板離子の振着は、新潟古町の今は亡き市山七十世さんが、北新町の蒲寿屋料亭の大広間で、与板芸妓全員を集めて講習されたものだ。黒縁のサングラスをかけた老師匠が、与板小唄、与板離子に耳をかたむけながら、何度も自分の手と足を叩いて手振り身振りよろしく踊られた姿が目に見えるようだ。と

さて、その小唄、離子の歌のメロディーは、静岡県沼津市の高等女学校の大石進一先生が作曲された。昭和十一年十月十五日付で

筆者 公民館長 高橋 康夫

二伸寺泊行きの自動車代、未払いして参りましたが、小学生の作曲料より御差引が小生の作曲料より御差引の上、小沼様にお渡し願いります。失礼ながらお願ひます。

即興的技術が必要なんだなあ!!と、思わず感嘆したと書いていられる。

去る九月二十八日の日報に、新幹線開通へ心おどる古町芸者、指導する市山七郎。この人こそ市山流六代目宗家である。岩室甚句相川音頭、米山甚句等々親しみ深いものがあると書かれてあった。市山七十世さんは何代目になるか定かでないが、与板小唄、与板離子の振着は市山流によるものだ。

与板離子は市山流によるものだ。黒縁のサングラスをかけた老師匠が、与板小唄、与板離子に耳をかたむけながら、何度も自分の手と足を叩いて手振り身振りよろしく踊られた姿が目に見えるようだ。と

发起人の一人である笠原さんは、歌曲の振着とは、

与板小唄、与板離子の振着は、新潟古町の今は亡き市山七十世さんが、北新町の蒲寿屋料亭の大広間で、与板芸妓全員を集めて講習されたものだ。黒縁のサングラスをかけた老師匠が、与板小唄、与板離子に耳をかたむけながら、何度も自分の手と足を叩いて手振り身振りよろしく踊られた姿が目に見えるようだ。と

さて、その小唄、離子の歌のメロディーは、静岡県沼津市の高等女学校の大石進一先生が作曲された。昭和十一年十月十五日付で

筆者 公民館長 高橋 康夫

二伸寺泊行きの自動車代、未払いして参りましたが、小学生の作曲料より御差引が小生の作曲料より御差引の上、小沼様にお渡し願いります。失礼ながらお願ひます。

即興的技術が必要なんだなあ!!と、思わず感嘆したと書いていられる。

去る九月二十八日の日報に、新幹線開通へ心おどる古町芸者、指導する市山七郎。この人こそ市山流六代目宗家である。岩室甚句相川音頭、米山甚句等々親しみ深いものがあると書かれてあった。市山七十世さんは何代目になるか定かでないが、与板小唄、与板離子の振着は市山流によるものだ。

与板離子は市山流によるものだ。黒縁のサングラスをかけた老師匠が、与板小唄、与板離子に耳をかたむけながら、何度も自分の手と足を叩いて手振り身振りよろしく踊られた姿が目に見えるようだ。と

发起人の一人である笠原さんは、歌曲の振着とは、

与板小唄、与板離子の振着は、新潟古町の今は亡き市山七十世さんが、北新町の蒲寿屋料亭の大広間で、与板芸妓全員を集めて講習されたものだ。黒縁のサングラスをかけた老師匠が、与板